



農都共生研究会
Agricultural laboratory

地域の資本を活かして、日本をもっと元気に、北海道をもっと明るくすることを目的としています。全国各地の地域づくりの成功例を調査し、農村と都市の共に繁栄するあり方を研究しています。さらに農村と都市の共生と交流の促進を提言し、各地の地域振興の具体的な組織と連携し、各種事業を実践します。

活動内容
研究会は次の活動を行う。

多様な活動主体の取組活発化に向けた活動
地域住民への普及・啓発に向けた活動
農村と都市の共生と交流推進方策の検討
農都共生に関わるビジネスプランの検討
その他研究会の目的を達成するために必要な活動

2019年度 活動報告 (抜粋)

7月17日
いいね!農style 豊滝農場
中学生の農業体験受け入れに参加

いいね!農style豊滝農場で毎年行われる、札幌市立北野中学校 特別支援学級の農業体験に参加しました。畑の見学に農作業体験、ピザづくりなど、毎年この日を楽しみにしている生徒がたくさんいるそうです。野菜が苦手な生徒が野菜サラダを「美味しい!!」とたくさん食べた。過去にはその年一度も登校していなかった生徒が農業体験の日だけ登校してきたと、農業の力を感じることができました。



7月31日
第8回 農業・農村・地域活性化セミナー

10月25日
第9回 農業・農村・地域活性化セミナー

11月6日
農都共生研究会フォーラム

2020年

1月 報告書発行

これまでの活動紹介

【フォーラム】

農都共生の考え方やその事例、全国各地の新しい取り組みについて紹介するフォーラムを年に1~2回、開催。開催場所は札幌をメインに、帯広でも行いました。



【人材育成】

2011年から、6次産業化など農業に関わる人材育成に携わり、研修の企画運営を行なっています。2012年、13年には、さっぽろ雇用創造協議会からの委託事業として実施。

【展覧会+トークショー】

2012年、半農半画家のイマイカツさんの展覧会を、企画運営しました。また展覧会会場において、林代表とイマイカツさん、地域づくり関係者などのトークショーも実施しました。



【マルシェ】

農家と一般消費者が繋がるよう「農を身近に」をテーマに、近郊の農家の方々に採りたての農産物を持ち寄っていただき、札幌市内の会場でマルシェを開催しました。



【ツアー・援農】

農都共生研究会主催で農業体験ツアーを企画運営。バスを使っての本格的農園ツアーやワイナリーツアーを実施のほか、交流のある農家の収穫時などの援農も行っています。



活動内容や掲載記事など、詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.noutokyousei.jp/> 農都共生研究会 検索



お問合わせ
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
[日吉学生部SDM担当]

〒223-8526 横浜市港北区日吉4-1-1 協生館2階
TEL 045-564-2518 FAX 045-562-3502

<http://www.sdm.keio.ac.jp> E-mail sdm@info.keio.ac.jp

2020年1月発行

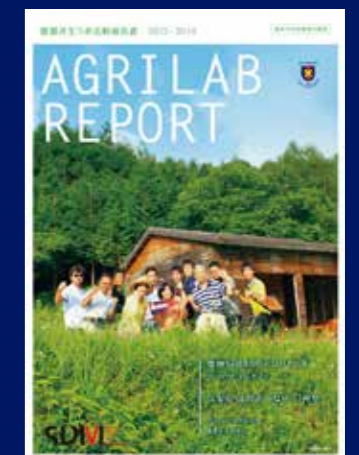
発行 / 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
農都共生研究会

企画・制作 / 株式会社プロコム北海道 [農都共生研究会事務局]
〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目2-1 太平洋興発ビル
TEL 011-215-1317 FAX 011-215-1318
E-mail goto@procomh.co.jp

AGRILAB REPORT



農都共生ラボ活動報告書
2019 - 2020 農林中央金庫寄附講座



農都共生ラボ 12年の歩み

AGRI Semi Report / 農都共生研究会

